

関東東山病害虫研究会 第57回 研究発表会・総会プログラム

日時:2010年2月26日(金) 10:00~16:40

場所:静岡県静岡市 もくせい会館

富士ホール(病害・虫害会場 総会会場) 一般講演12分(1鈴8分, 2鈴10分, 3鈴12分)

時間	番号	講演題目	座長
10:00	1	数種薬用植物の灰色かび病 大久保雄太1・小林享夫1・夏秋啓子1・福田達男2(1東京農業大学国際農業開発学科・2北里大学薬学部)	外側正之 (静岡県農林技術研究所 茶業研究センター)
10:12	2	<i>Phoma</i> 属菌による鉢物アジサイの枝枯症状 池田健太郎・桑原克也・古屋修・三木静恵・柴田聡(群馬県農業技術センター)	
10:24	3	茨城県におけるQol剤耐性ウド褐斑病菌の発生状況 宮本拓也・富田恭範・小河原孝司(茨城県農業総合センター園芸研究所)	
10:36	4	六条大麦「すずかぜ」の登熟過程におけるデオキシニバレノールの蓄積 酒井和彦1・矢ヶ健治2(1埼玉県農林総合研究センター・2埼玉県農林総合研究センター水田農業研究所)	
10:48	5	群馬県におけるレタス根腐病の発生 三木静恵1・桑原克也1・大堀智也1・池田健太郎1・酒井宏2(1群馬県農業技術センター・2群馬県農政部技術支援課)	藤永真史 (長野県野菜 花き試験場)
11:00	6	低濃度エタノール処理によるウリ科野菜ホモプシス根腐病防除 折原紀子・植草秀敏(神奈川県農業技術センター)	
11:12	7	亜リン酸処理がジャガイモそうか病の発生に及ぼす影響 仲川晃生1・越智直1・清水繁夫2(1中央農業研究センター・2日本医薬品開発研究所)	
11:24	8	酵母抽出液の処理条件の違いによるトマトかいよう病の防除効果 中保一浩1・石原岳明1・菊原賢次2・花田薫1(1中央農業研究センター・2福岡県農業総合試験場)	舟久保太一 (山梨県総合 農業技術センター)
11:36	9	栃木県におけるショウガ青枯病の発生 和氣貴光(栃木県農業試験場)	
11:48	10	ELISA法と特異的プライマーを用いたPCRによるトウモロコシ萎凋細菌病菌の検出法 田平剛・畔上耕児(中央農業総合研究センター)	
12:00	昼食休憩		
13:00	総会		
13:30	特別講演 我が国における天敵利用の現状と課題 根本久氏(埼玉県農林総合研究センター水田農業研究所)		西東力 (静岡大学農 学部)
14:20	11	トウモロコシ根腐病とスズランエリカ根腐病の新病原 舟久保太一1・景山幸二2(1山梨県総合農業技術センター・2岐阜大学流域圏科学研究センター)	酒井宏 (群馬県農政 部技術支援 課)
14:32	12	温湯散布によるイチゴうどんこ病防除の可能性 小河原孝司・小西博郷・島本桂介・富田恭範(茨城県農業総合センター園芸研究所)	
14:44	13	ガーベラ花卉腐敗の原因となる灰色かび病及び青かび病菌の飛散状況 鈴木幹彦1・佐々木麻衣2(1静岡県農林技術研究所・2静岡県西部農林事務所)	
14:56	14	<i>Colletotrichum acutatum</i> によるピーマン炭疽病(病原菌追加) 植松清次・小塚玲子・鈴木健(千葉県農林総合研究センター)	植草秀敏 (神奈川県農 業技術セン ター)
15:08	15	PCR法及び簡易生物検定法による <i>Colletotrichum</i> 属菌のイチゴに対する病原性判定 鈴木健・鈴木達哉・田中千華・大谷徹・伊東靖之(千葉県農林総合研究センター)	
15:20	16	長野県内のキュウリにおけるウイルス発生実態と弱毒ウイルス製剤の苗処理による防除 藤永真史1・本井浩2・上久保和芳3・寺戸久美子4・榎山岳彦5・小木曾秀紀1(1長野県野菜花き試験場・2長野農業改良普及センター・3松本農業改良普及センター・4上伊那農業改良普及センター・5下伊那農業改良普及センター)	
15:32	17	埼玉県のキュウリ抑制栽培におけるウイルス病の発生状況 宇賀博之1・菅原章夫2(1埼玉県農林総合研究センター・2大里農林振興センター)	
15:44	18	キュウリ退緑黄化病・黄化えそ病の発生状況 大森貴寿・駒場謙一・山城都・小林誠(栃木県農業環境指導センター)	土井誠 (静岡県病害 虫防除所)
15:56	19	薬剤抵抗性ミナキイロアザミウマとMYSVはハウス内で冬を越す 鈴木誠・木村厚信・松田広子・植草秀敏・大矢武士(神奈川県農業技術センター)	
16:08	20	栃木県におけるイネ縞葉枯病の発生状況 大森貴寿・池澤和美・高橋聖恵(栃木県農業環境指導センター)	
16:20	21	神奈川県におけるトマト黄化葉巻病とタバコナジラミの発生状況 松田広子・植草秀敏・大矢武志・田村律子・上原娘香・鈴木誠(神奈川県農業技術センター)	

関東東山病害虫研究会 第57回 研究発表会・総会プログラム

日時:2010年2月26日(金) 10:00~16:40

場所:静岡県静岡市 もくせい会館

第1会議室(虫害会場A) 一般講演12分(1鈴8分,2鈴10分,3鈴12分)

時間	番号	座長	座長
10:00	A1	エダマメのダイズシストセンチュウに対する各種薬剤の効果検討~ダゾメット(2年目)・オキサミル・カズサホス~ 大林 隆司 <sup>1</sup> ・吉村 聡志 <sup>2</sup> ・小島 彰 <sup>2</sup> ・竹内 浩二 <sup>1</sup> (1東京都農林総合研究センター・2東京都中央農業改	酒井啓充 (中央農研)
10:12	A2	低濃度エタノール処理における処理濃度と地温がキュウリのネコブセンチュウ防除に与える影響 大木浩・牛尾進吾・川城英夫・武田藍(千葉県農林総合研究センター)	
10:24	A3	千葉県の植木根圏における植物寄生性線虫相 水久保隆之 <sup>1</sup> ・武田 藍 <sup>2</sup> ・酒井啓充 <sup>1</sup> (1中央農業総合研究センター・2千葉県農林総合研究センター)	大林隆司 (東京都農 林総研)
10:36	A4	防虫ネットによるアブラムシ類の侵入阻止効果と天敵アブラバチ類 長坂幸吉・尾島一史・田中和夫(中央農業総合研究センター)	桑澤久仁厚 (長野県農 政部)
10:48	A5	バンカープラントを利用したイチゴのワタアブラムシ防除 西村浩志(栃木県農業試験場)	
11:00	A6	飛ばないナミテントウによる洋ニンジンのアブラムシ防除法の開発 須見綾仁 <sup>1</sup> ・世古智一 <sup>2</sup> ・伊藤健司 <sup>3</sup> (1徳島県立農林水産総合技術支援センター農業研究所・2近畿 中国四国農業研究センター・3株式会社アグリ総研)	
11:12	A7	ウスモンミドリカスミカメの産卵習性 池田二三高	横須賀知之 (茨城県農 総セ)
11:24	A8	カスミカメムシ2種の水田発生動態に影響を及ぼす周辺環境要因の比較(午前希望) 安田美香 <sup>1</sup> ・武田 藍 <sup>2</sup> ・田淵 研 <sup>1</sup> ・奥 圭子 <sup>1</sup> ・安田哲也 <sup>1</sup> ・渡邊朋也 <sup>1</sup> (1中央農業総合研究センター・2 千葉県農林総合研究センター)	
11:36	A9	カスミカメムシ2種およびツマグロヨコバイの水田内すくい取り効率 渡邊朋也 <sup>1</sup> ・安田美香 <sup>1</sup> ・武田 藍 <sup>2</sup> ・田淵 研 <sup>1</sup> ・安田哲也 <sup>1</sup> ・奥 圭子 <sup>1</sup> ・高橋明彦 <sup>3</sup> (1中央農業総合研 究センター・2千葉県農林総合研究センター・3中央農業総合研究センター北陸研究センター)	
11:48	A10	殺虫剤散布回数異なるリンゴ園において捕獲される生物種の比較 金子政夫・渡邊奈央・吉沢栄治(長野県果樹試験場環境部)	金子修治 (静岡県農 林研果研)
12:00	昼食休憩		
13:00	総会		
13:30	特別講演 我が国における天敵利用の現状と課題 根本久氏(埼玉県農林総合研究センター水田農業研究所)		西東力 (静岡大学 農学部)
14:20	A11	ネギ圃場におけるトラップ調査で捕獲された生物種による薬剤防除の影響 内野 憲・大井田 寛(千葉県農林総合研究センター)	金子修治 (静岡県農 林研果研 セ)
14:32	A12	千葉県におけるクロマダラソテツシジミの発生(午後希望) 河名利幸 <sup>1</sup> ・斉藤明子 <sup>2</sup> ・尾崎煙雄 <sup>2</sup> ・盛口満 <sup>3</sup> ・平井良明 <sup>4</sup> ・小林洋生 <sup>4</sup> (1千葉県農林総合研究センター 病害虫防除課・2千葉県立中央博物館・3沖縄大学・4安房生物愛好会)	
14:44	A13	果樹カメムシ類の発育と産卵におよぼすヤマモモ等生植物の影響 清水喜一(千葉県農林総合研究センター)	鈴木誠 (神奈川県 農技セ)
14:56	A14	ホソヘリカメムシ野生虫の潜在的飛翔能力 守屋成一・水谷信夫・田淵研・長坂幸吉(中央農業総合研究センター)	
15:08	A15	殺虫剤の散布および周辺環境が天敵卵寄生蜂カメムシタマゴトビコバチのトラップ誘引数に与える影響 水谷信夫 <sup>1</sup> ・行徳裕 <sup>2</sup> ・樋口聡志 <sup>2</sup> ・山口卓宏 <sup>3</sup> ・安田哲也 <sup>1</sup> ・田淵研 <sup>1</sup> ・守屋成一 <sup>1</sup> ・佐々木力也 <sup>4</sup> (1中央農 業総合研究センター・2熊本県農業研究センター・3鹿児島県農業開発総合研究センター・4富士フー DNAマーカーによるコナジラミ寄生蜂3種の識別法について 日本典秀 <sup>1</sup> ・杉山恵太郎 <sup>2</sup> ・大矢武志 <sup>3</sup> ・二村友彬 <sup>3</sup> (1農業生物資源研究所・2静岡県病害虫防除所・3 神奈川県農業技術センター)	
15:20	A16	ヒメハナカメムシ類の捕獲場所(春~初夏) 1川田祐輔 <sup>2</sup> ・大矢武志 <sup>1</sup> ・1糸山享 <sup>3</sup> ・3日本典秀(1明治大学農学部・2神奈川県農業技術センター・3(独 法)農業生物資源研究所)	田上陽介 (静岡大学)
15:32	A17	カーネーション各品種のハダニ感受性とミヤコカブリダニによるハダニ防除効果程度について 二村友彬・大矢武志(神奈川県農業技術センター)	
15:44	A18	茨城県の半促成栽培ピーマンにおけるスワルスキーカブリダニ等の天敵を用いた防除の有効性 鹿島哲郎・星野真西・草野尚雄・富田恭範(茨城県農業総合センター園芸研究所)	守屋成一 (中央農研)
15:56	A19	定植時の粒剤施用とスワルスキーカブリダニ放飼を組み合わせた温室メロンの防除体系 増井伸一・芳賀 一(静岡県農林技術研究所)	
16:08	A20	防虫網と近紫外線除去フィルムによるサヤエンドウの害虫防除 伊藤 綾・沼尻勝人・西村修一・竹内浩二(東京都島しょ農林水産総合センター三宅事業所・1現 東 京都中央農業改良普及センター・2 東京都農林総合研究センター)	
16:20	A21		

関東東山病害虫研究会 第57回 研究発表会・総会プログラム

日時:2010年2月26日(金) 10:00~16:40

場所:静岡県静岡市 もくせい会館

第2会議室(虫害会場B) 一般講演12分(1鈴8分,2鈴10分,3鈴12分)

時間	番号	座長	座長
10:00	B1	ダイコンにおけるトルフェンピラド乳剤を用いたナモグリバエおよび白さび病・わか症に対する同時防除の可能性 大矢武志・植草秀敏(神奈川県農業技術センター)	片山晴喜 (静岡県病害虫防除所)
10:12	B2	静岡県浜松市の慣行防除ほ場におけるネギ属作物のネギアザミウマの発生活長 芳賀一・増井伸一・万年、潤也・内山徹(静岡県農林技術研究所)	
10:24	B3	茨城県の半促成栽培アスパラガスにおけるアザミウマ類の発生種及び薬剤の殺虫効果 草野尚雄・星野真西・鹿島哲郎・富田恭範(茨城県農業総合センター園芸研究所)	
10:36	B4	ミカンキイロアザミウマ蛹に対する天敵糸状菌Beauveria bassianaの殺虫効果 務川重之・遠山宏和(茨城県農業総合センター生物工学研究所)	
10:48	B5	静岡県の茶産地におけるハマキガ類の薬剤抵抗性 1.チャノコカクモンハマキのベンゾイルヒドラジン系IGR剤に対する抵抗性の発達 小澤朗人・内山徹(静岡県農林技術研究所茶業研究センター)	内野 憲 (千葉農林総研)
11:00	B6	静岡県の茶産地におけるハマキガ類の薬剤抵抗性 2.チャノコカクモンハマキおよびチャハマキのIGR剤に対する感受性の実態 内山徹・小澤朗人(静岡県農林技術研究所茶業研究センター)	
11:12	B7	日本ナシ交信攪乱剤設置園におけるリンゴコカクモンハマキの発生活長とその要因 斎藤俊一・高橋真秀1・内野憲2(1千葉農林振興センター・2千葉県農林総合研究センター)	
11:24	B8	ナシに寄生するニセナシサビダニの密度推定 斎藤公作・宇井浩之・宮井俊一・鎌田由美子・片瀬雅彦(千葉県農林総合研究センター病害虫防除課)	